

星屑

Dec. 05

No. 369



火星 2005年11月4日

20Cm F6 望遠鏡 ToUcam Pro

火星 2005年11月4日

20Cm F6反射 ToUcam Pro

熊本県民天文台

10/30 火の君祭りで大盛況！

青空の中のアーケツルスや金星を望遠鏡で見ると…

今年は盛況の予感が…

今年の火の君祭り、歌手の西城秀樹さんはじめ有名タレントの来場や子ども向けのイベントもたっぷりあって、前評判は上々だったようです。外国の秀樹ファンからも「城南町の会場に行くにはどのような交通機関を使えばいいのか？」と問い合わせが来て、役場の職員がビックリするほどだったそうですから、かつてない盛り上がりが期待されました。火の君祭り実行委員会からそんな事前情報が入っていましたので、恒例になった天文台の昼間の一般公開「昼間の星を見よう!」にも大勢のお客さんがやってくる予感がありました。

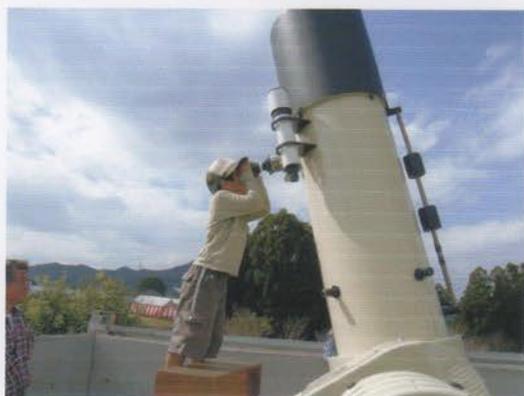
それで当日は9時前に天文台へ到着し、まず掃除機をかけまくって大掃除。観測室や階段、それにミーティングルームも久しぶりにきれいになりました。普段の夜の一般公開では気にならない小さなゴミも、明るい陽の下では目立ってしょうがないですからね!

アーケツルスの導入

掃除が済んだら、早速、事前の下調べに従ってアーケツルスを導入する作業です。パソコンを起動し、ステラナビゲーターを動かしておいてから、41cm望遠鏡のファインダーを使って太陽を導入（この間主鏡には蓋）、アストロスケールで赤経赤緯の座標を合わせました。次に、ステラナビの画面でアーケツルスを選び、赤経赤緯の座標値を得ます。それから、ゆっくりと望遠鏡を動かし、アストロスケールの表示に従って望遠鏡をアーケツルスに向けます。「あるかな? うまく見えるかな? ……」心配は無用でした。青空の中にキラリとオレンジ色に光る光点が見えます。太陽からの離角が30度以上あるので、初心者にも見やすいコントラストが確保できていました。良かった!

開会前から

目的の「昼間の星」が導入できてホッとしたところへ、早速、お客さんがやってきました。大人も子どもも、次々と10名くらいが集まってきました。どうやら、大きな望遠鏡が青空に向かってのを見て、走ってきたらしい。会場内を見渡すと、まだマイクテストをしたりで、「準備中」の雰囲気なんです。天文台は一足早く開台宣言、玄関を開け放ってお客さんを受け入れることにしました。青空の下今年最大の一般公開イベントの始まりです。





ロケット教室は中止

ひっきりなしにお客さんがやってきます。観測室だけでなく、ミーティングルームで上演している電子紙芝居にも切れ目なくお客さんが来て、いくつかの物語を時間をかけてじっくり見ていく人達も結構多かったです。「城南町の民話シリーズ」と「恐竜と星空」の5本を収録したDVDを使って、繰り返しくりかえし上演しました。中には「子どもの頃は緑川でこんなふう遊びました」と懐かしい思い出を語って行かれる家族連れもいて、なかなか楽しい電子紙芝居上演会でした。観測室も電子紙芝居も忙しくて、手が足りないので今年の「ロケット教室」は中止にしました。



午後は金星を堪能

午後になると、さすがに空は明るくなるし、アークツルズは見にくい位置に来るして、対象を「昼間の金星」に変えました。11月4日の東方最大離隔直前だったので、金星は半月状に見え、しかもとっても明るい状態でした。昼間の観望には願ってもない条件だったのです。ところがこの頃から時々雲が広がり、見えたり隠れたりの状態になってしまいましたが、ほとんどの方が金星が見えるまでがんばって、大満足でした!



お土産写真

当日は、お土産写真として、部分月食（10/17撮影）と、火星（10/8撮影）の2種類を用意しました。プリント費用を火の君祭り実行委員会が負担して下さったので、先着順に無料で配布しました。当日はお天気にも恵まれ、来台者が多く、200枚プリントした月食写真は、一人一枚ではなく一家族に一枚ずつ配ったのに、午前中になくなり、火星の写真もあっという間に・・・。



雲間に輝く金星

10/30、夕方
西嶋さんお得意の
手持ちデジカメ撮影
です

☆3人のコペルニクスに会ってきた（その4）☆

白鳥

おみやげも決まったしコペルニクスの生家（コペルニクス博物館）を訪ねていってみよう。先月号のクッキー屋さんから10数mも行ったところ。本当にご近所さん。

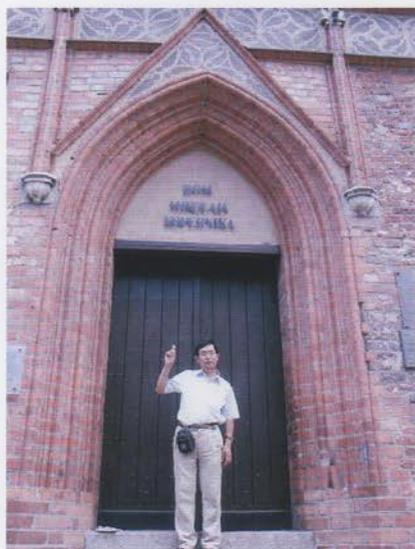


図1（右）：コペルニクスの生家の入り口
（15世紀のゴシック様式の家らしい）

図2：（上）生家の中の写真（ガイドの目を盗んでばかり！）

ところが、写真がほとんどない！なぜなら中は写真撮影が有料だったので。各階にガイドがいて写真等は注意される。なかは、コペルニクスのご両親（お父さんは商人だった）の使っていた家具から、コペルニクスが使っていた道具などが展示されていた。その後は市内を散策。ドイツ騎士団の城跡やプラネタリウムに行ってみた。プラネタリウムはポーランド語、もちろんよくはわからなかったが太陽系の話だった。



図3 コペルニクス天文学センターの入り口

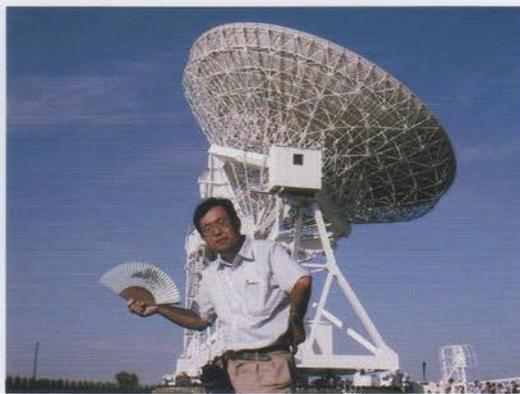


図4 同センターの口径32m電波望遠鏡

夕方にはトルン市郊外のコペルニクス天文学センターに行ってきた。町の中心からすこしバスで行ったところ、まあ数kmはありそうだが。セバスチャンが在籍しているところだから簡単に入れた。この敷地は予想以上に広くて、中には口径3.2mの電波望遠鏡でパルサーやVLBIの研究をしているのをはじめとして、数基の光学望遠鏡や研究棟があった。



図5 同センターの光学望遠鏡

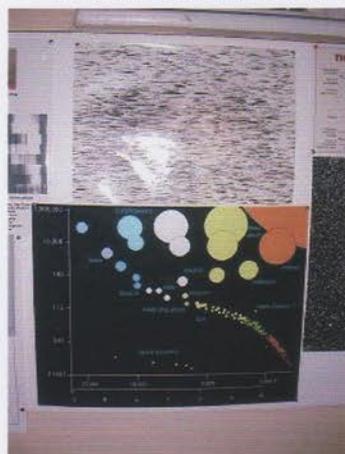


図6 HR図と星々のスペクトル

とくに光学望遠鏡は、いまは教育用として使いながらも大変歴史的に価値のある望遠鏡らしく、何でもあのHR (Hertzsprung-Russell) 図を作るきっかけになった星々のスペクトルを撮っていた望遠鏡らしい。そういわれるとなんか価値があるようにも見えてくる。

特殊なガラス・フィルターを付けると数百の星のスペクトルが一度にとれるそうだ。図6の上の写真は一回で撮ったらしい。原理は不勉強でよくわからないが画期的な装置だったのだろう。



図7 このガラス・フィルターを付けてスペクトルを撮ったらしい

夜になるとまたトルン市中心に戻り、再びコペルニクスの像の前にこのあたりは繁華街らしく像の前には居酒屋さんが開店している。さて、今日はどこで一杯やろうかと近くのコペルニクス大学の学生たちがたくさんやってきている。

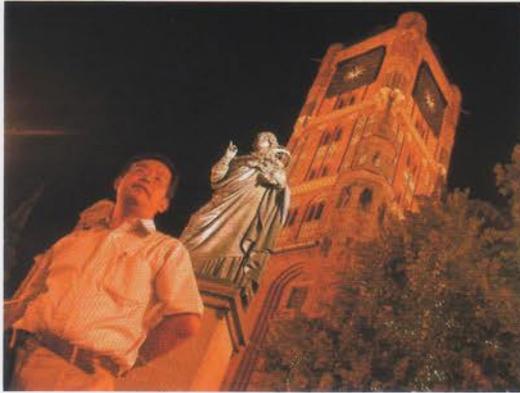


図8 コペルニクスの像の前で

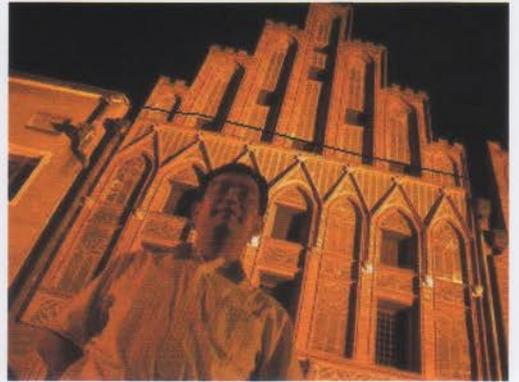


図9 コペルニクスの生家の前でも一枚

我々かというと、市街の外を流れるヴィスワ川に浮かぶ船で夜空と街明かりを見ながら一杯やることにした。船上がパブになっていて「ベンチやドックに座りながら一杯やれるようになっている。残念ながら船は係留されているので屋形船のように移動しながらではないが。さて、かんぱーいとやったのはいいがすごく寒い！！下の写真のように二人とも半袖だが、この原稿を書いている熊本の夜くらい（11月）の気温しかなく、しかも風がビュービュー吹き付けてたまらんと私は逃げ出した。

というわけで、街の中心に舞い戻りコペルニクスの像を見ながら、一杯と相成ることになった。これ、夜中の2時過ぎでかなり寒さに震えながら飲んでました。まだ、酔客が多くてやっと3時過ぎにお開きになりました。というわけで、今月号の記事もこれでお開き。来月、いよいよ最終回に突入！！



図10 街中心の野外居酒屋にて
後ろはコペルニクス大学の学生たち
ここら辺がたまり場らしい



図11 市内にあった犬の銅像
踏みつけるといいらしいのだがなぜかは不明

天文教育普及研究会 九州支部集会のお知らせ

日時: 11月19日(土)

お昼から

場所: 九州東海大学

8号館4階

問い合わせ先

siratori@ktmail.ktokai-u.ac.jp

みなさま、ぜひ来てください

一年に一度のビッグな集まり!!

Kenko Sky Explorer SE-200N が天文台に来た！

口径200mm 焦点距離 1000mm F5.0 ニュートン反射鏡筒

ひげ

それは、先月のトークアバウトから始まった。

「天文台で買ったイオス20 Da、あんまり最近使っていないなあ」

「41 Cmだと、ちょっと焦点が長すぎだよねえ」

「もう少し気軽に撮れる焦点の望遠鏡が載せられないかなあ」

「ずーっと置いたまんまのε200は使えないの？」

「ちょっと重すぎるし、調整が大変で結局前も使えなかったよね。」

「なんか、欲しいようねえ。ビクセンのR-200SSはどうかなあ？」

「新品で買うと10万円ぐらいするよ。」

「うーん・・・」

「これとかどう？」

「ケンコー??」

「大丈夫かなあ？」

「でも、天文ガイドじゃ評判良さそうだし、とにかく安いよ!!」

「じゃ、とりあえず買ってみましょうかね」

～ メーリングリストのメール ～

【昨日のトークアバウトで、先日提案した望遠鏡のことについて話し合いました。現在の41cm F6=2400mmという焦点距離一本ではなかなか使い勝手が悪いということで、もう一本望遠鏡を同架しようということになりました。

そこで、ケンコーから発売されている20cm F5の鏡筒はどうかということになったのですが、天文ガイド等での評判も良く、安い(31,000円)ということで買ってみようということになりました。コマコレクター等を含めて50,000円ほどの予算を考えてみまし

た。

そこで、今回は以前も何回か行った有志による寄付という形でやってみようという提案しています。幸い、川端さんのところのプラネットタウンで問い合わせただけのことになりましたので、近日中に見積もりが出ると思います。】

～ 引用終わり ～

ということで、いよいよ購入へと動き出しました。川端さんからお返事をいただき、すぐに納品されてきました。(お店から天文台へと望遠鏡を運んで下さったTOMMYさん、どてらにパジャマでお疲れ様でし

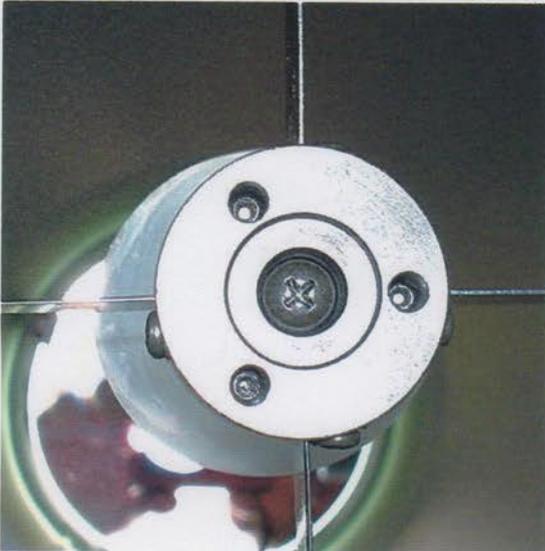


た！)

早速、望遠鏡に同架してみました。なかなか色も合っていて、しっかりとしています。思いのほか、バランスも崩れていません。



接眼部は、2インチで60 mmのビクセンのリングが使えます。Tリングを使うときは、31.7 mmアダプターをはず



すと、そのままねじ込んで使えます。よく考えられています。いろいろと遊べる作りです。ちょっと調整したら、がたも少なくなりいい調子になりました。

問題は、斜鏡の取り付けです。強力両面テープで付けてあります。光軸あわせがちょっとやりにくい感じです。

主鏡は写真のようなシースルーのセルに取り付けてあって、気温順応は早そうです。主鏡中心にはマークがあります。主鏡の裏面はちょっとざらざらです。



それでも、鏡筒バンドにアリ型プレート、アイピースが2本、5 Cm 9倍ファインダーが付属していて、お買い得感いっぱいです。まだまだ光軸がきちんと合っていないから、実力をきちんと発揮できていませんが、これからどんどん活躍していくことでしょう。

今回は有志連合による拠出金という形での購入です。お金の支払いが完了したら、その後は天文台で会員は、だれでも自由に使えることになります。皆さんふるってご利用下さい。その他、トキナーの400 mm F5.6等のレンズもありますので、ご利用下さい。

ちよつと一服

Poem & Illustration

11月に入り、やっとなんて秋らしくなってきました。と言っても7日は立冬、もう冬なんですけどね。

夜空はもう、すっかり晩秋。つるべ落としの夕暮れ時、西に夏の大三角形が低く沈み始めペガサスの四辺形が天頂を陣取っています。東にはおうしと共に(位置的にはおひつじですけど)火星が輝き、西から南に移動するだけだった金星がやや上がり始め12月9日の最大光度を迎えます。

天文台を空けてしばらくするともうオリオンが昇ってきます。大好きなM45、M42をたっぷり楽しむ季節になりました。20cm反射も入ったことだし、皆さん、写真を撮りに来ませんか？



獲物

ゆうぐれ
美しい女神が輝く顔を西の空に見せる頃

猫師は獲物を追いかけていた

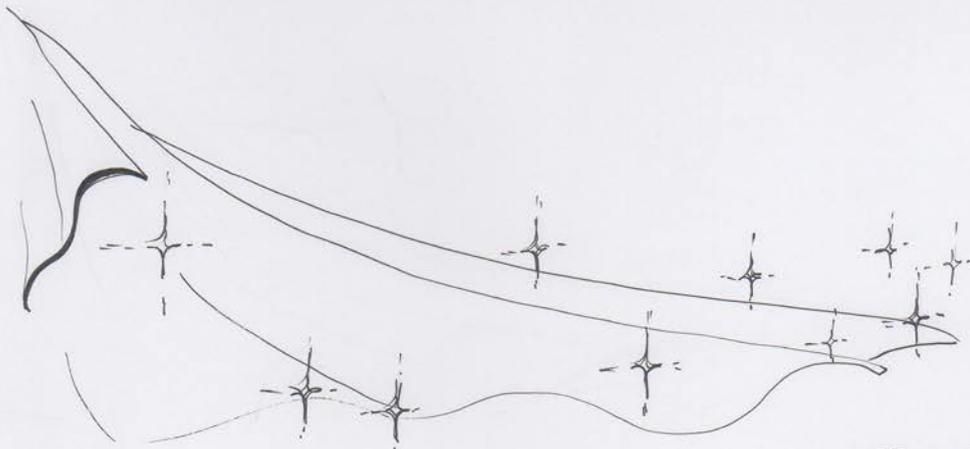
追うはずが追われていることなど
気がつきもせずに

知らずにいたほうが幸せな事だってある

だんだんと暗くなって行く空の下で
犬が遠吠えを始めると
もう一人の女神が弓を引き絞った

猫師のナイフが
1300光年の彼方で煌いている

獲物を捕らえるのも時間の問題だ



By Dio

2005年10月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 10日/14日=71.4% 一般来台者数620名 会員来台45名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
1日 (土)	はれ	8名+熊大生	中島、TOMMY、鹿釜	金星、フォーマルハウト、アンドロメダγ、火星、M31 ☆晴れてよかった！！熱心な方が多くて楽しい運営 ☆熊大生が来台 写真撮影（天文台&清和） 松本、TOMMY ○ 写真撮影 今日は条件に恵まれ、透明度、シンチレーション共に満点でした。
7日 (金)	くもり	4名	西嶋	ベガ、ダブルダブル、火星 雲越しの観望でした。切れ間に見えるベガとダブルダブルはきれいでしたが・・・火星は・・・雲から出たり入ったり。そうこうしてるうちに雨粒が・・・大急ぎで閉めました。 金星と月（例によって手持ち撮影） 雲との戦いでした。西嶋
8日 (土)	くもり/ 晴	0人	中島、TOMMY、鹿釜	松橋公民館 子どもの楽校 子ども29人+大人15+α（計60人ほど） ◎月、火星、フォーマルハウト、といて座のなんかの星（ヌンキだった！！） ◎下の部屋で星空解説。小さい子どもが多くて大変でした。 ◎お〜いお茶500ml×24本1箱いただきました。
9日 (日)	曇り	4人	小林M、高田	月、金星、火星、ベガ
15日 (土)	くもり/ はれ	熊大天文部1名	小林J、小林M、中島、西嶋、高田、TOMMY、鹿釜	月 来たときは曇りでしたがだんだん晴れて月が見えるようになりました。 TalkAbout 41cmに何か乗せようという話がありました。
16日 (日)	快晴	8名	Tsu、小林M、西嶋、高田	金星、月、火星、アンドロメダγ、M13、イリジウムのフレア 18:39
19日	晴			火星をビデオ撮影 シンチレーション悪！（小林ま）

(水)				
22日 (土)	晴	浅野さん (会員さん)一家4名	鹿釜	金星、火星、M31、hx、アンドロメダγ、M22、M13、双眼鏡ですばる 透明度はいいのですがシンチレーションが…。 「望遠鏡のセッティングを教えてもらえるといいな」ということでした。そのうち持ってこれると思います。 小林 J、小林 M (娘さんも)、松本、西嶋 出張：植木町菱形公民館 (Tsu) 参加者45名 ひしっこエコレンジャー 星空観察：金星、火星 電子紙芝居
23日 (日)	晴れ/曇り	なし	Tsu、高田、小林ま	火星 大黃雲発生中！ 雲が多く、高田君の手持ち撮影のみでした。(小林ま)
27日 (木)	晴れ	0名	松野	金星、ww、ベガ、火星、M42 中島、Tsu、西嶋、松野
29日 (土)	曇り	6人	中島、鹿釜、松本	金星、火星 フィールドミュージアム 「火星」 参加者15人 Tsu、西嶋、鹿釜、大学生2人 ・火星、金星 ・電子紙芝居 etc...
30日 (日)	晴・曇り	昼間の部 450名 夜の部 15名	Tsu、中島、西嶋、小林ま、TOMMY	昼 城南町の「火の君まつり」の特別来台450名余(記録ありが372名) アークトゥルス、金星、電子紙芝居(DVD)上演 夜 金星、火星、スバル(双眼) 電子紙芝居「屁のガッパ」「火星大接近」「月のクレーター」他… 西嶋、TOMMY、小林 J 金星、火星の撮影

先日の部分月食と、火星大接近はいかがだったでしょうか。私は、久々の部分月食をしっかりと楽しませて頂きました。そのまま見ても楽しめましたし、望遠鏡で撮影しながらアップでも楽しみました。でも、寒かったので風邪ひきそうでしたよ。これからは、益々寒くなるので、天文台へお越しの際は服装にお気を付け下さいね。東の空高くには先日大接近したばかりの火星が赤い姿で目に付きます。黄雲も発生したりと、なかなか目が離せません。暫くは見頃が続きますので、見てない方は、早めにお越し下さいね。

☆☆☆ 平成17年度の会費納入をお願い致します ☆☆☆

☆ 12月の天文現象&行事 ☆

- 1日(木) ペガスス座Rが極大(周期378日 6.9~13.8等)
- 2日(金) 新月(00:01)
- 7日(水) 大雪(たいせつ…寒気ますます盛んとなり、大雪の気配も強くなる)
- 8日(木) 上弦(18:36)
ちょうこくしつ座Sが極大(周期363日 5.5~13.6等)
- 9日(金) 金星が最大光度(21:57 -4.7等 視直径41.1")
おおぐま座Rが極大(周期302日 6.7~13.7等)
- 10日(土) フィールドミュージアムへ飛び出そう! 「輝く宵の明星」17:30~
- 11日(日) 小惑星ジュノが衝(10:54 7.6等)
- 12日(月) 月と火星が最接近(12:42 夕方の南の空でもかなり接近して見えます)
- 14日(水) ふたご座流星群が極大
- 16日(金) 満月(01:16 正中高度が今年で最も高い満月)
- 17日(土) トークアバウト(天文台にて 20:00~ 変更の場合もあります)
- 20日(火) 117P/Helin-Roman-Alu1彗星(周期8.2年)が近日点通過
- 21日(水) 101P/Chernykh彗星(周期13.9年)が近日点通過
- 22日(木) 冬至(とうじ…太陽が黄道の南限にあり、北半球では最も昼が短い)
宵空から翌朝にかけて、こぐま座流星群が極大
- 24日(土) 下弦(04:36) 60P/Tsuchinshan2彗星(周期6.8年)が近日点通過
- 25日(日) 今年の運営最終日
- 27日(火) 明け方の東天で月と木星(-1.8等)がならぶ
- 31日(土) 新月(12:12)

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2005年12月号 通巻369号
 発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
 熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
 TEL 0964-28-6060
 振替口座 01700-5-105697
 NPO熊本県民天文台事務局
 ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>